

第7回宇部市本庁舎建設基本計画検討委員会 議事録

日時/場所 2016年6月1日 18時～20時 / 宇部市役所4階委員会室

出席者 検討委員会／内田委員長、白石副委員長、藤井委員、安井委員、加藤委員、藤川(尚)委員、杉野委員、大畑委員、福田委員、橋本委員、三村委員、藤川(修)委員
宇部市都市整備部／白石部長、坂本次長、富田課長、上原主幹、三戸課長補佐、深川係長
総務管理部／藤崎部長、床本課長

1. 宇部税務署との合築について

宇部税務署との合築の経緯と期待される効果について、その効果は以下の通り。

- ① 両施設の関係性が高いことから施設利用者の利便性が向上
- ② 国と市との連携（駐車場や会議室の共用等）により、財産を効率的に活用
- ③ 真締川公園や常盤通りとつながりをもった庁舎周辺の一体的な環境整備が可能となり、土地の有効活用につながる

【主な意見】

委員長： 1つの建物の中に税務署を取り込むということか。

事務局： その予定としている。財産区分等の整理は今後の検討だが、まずは合築に関する合意をしたということである。

2. 市民シンポジウムの報告について

【主な意見】

委員長： 「市民活動支援機能」の意見について、「交流の場、10～30人用の小さいホール」は『会議室』、「市民団体が色々なことに使用できるスペース」は『ホール』の意味ではなかったか。

事務局： 確認し、必要に応じて修正する。（※HP掲載資料修正済み）

3. 基本計画(案)について

基本計画(案)の修正点(第3章3-1 まで)について

【主な意見】

委員： 駐車場の台数については、今後の公共交通利用の促進を考慮した調整を行う必要はないか。

事務局： 設計段階に精査を行いたい。

委員長： 主要な機能の説明図について、「目的を持って訪れる」ということに加えて、「ふらつと立ち寄れる」というニュアンスの内容が含まれるとより良いのではないか。

事務局： 検討する。

配置計画パターン(第3章3-3)について

【主な意見】

委員： 配置を決定する大きな要因はコストである。仮庁舎の建設にはどの程度必要と考えているか。

事務局： 660名収容の仮庁舎を建設したとして約14億円（税抜）を想定している。

委員： 段階施工となるとコストに影響があるのではないか。

事務局： 影響はあると考えるが、現段階ではその差は明確にできない。

委員長： 計画がもう少し具体的にならないと試算できないと思われる。

委員： 税務署機能も含め4階に収まると考えているか。

事務局： 収まる見込みであるが、今後詳細検討が必要。

委員： 建設物価の推移、熊本震災の影響、消費税増税のタイミングなどを勘案し、建設時期をどう見定めるべきと考えているか。

事務局： 設計完了までは予定通り進め、その時点で社会情勢を鑑みて発注時期を判断したい。

委員： まちなみの連続性に関しては、必ずしも必要ない。庁舎が奥にあってもいいという意見もある。

委員： 広場は、どういうコンセプトで作るかによってとらえ方が変わってくるが、具体的なイメージはあるか。

事務局： 庁舎単独の利用だと考えているが、真締川公園に面して整備する場合は市道の扱いを見直し、一体利用もできるようにしたい。

- 委員： 仮庁舎は他の公共施設など既存施設を利用することも考えられるのではないかと。そうすれば配置レイアウトの自由度が上がる。
- 事務局： 空ビル等への移転も含め、最善の方法を今後検討する。
- 委員長： 配置計画は基本計画の中にどこまで明確に記載する予定か。
- 事務局： 基本計画では決定的な表現は避けたい。今後、あらゆる意見を統合して判断していくための材料と考えている。
- 委員長： 3つのゾーニングを示した後の決め方についての記載に検討の余地がある。(「5つの重視する視点を踏まえ～」というような)

概算事業費及び財源、スケジュール(第4章 4-2,3)について

【主な意見】

- 委員： 市民シンポジウムにおける意見で「平成33年度以降となれば延命工事が必要となる」とあるが、修繕費はどの程度か。
- 事務局： 33年度以降となれば必要ということではなく、建設時期が遅れば遅くなるほど延命工場の必要性が高まってくる。
- 委員長： 今でも、3年後でも5年後でも延命工事は必要であり、新庁舎が完成するまでその状況は変わらないが、建設時期が遅れた場合、延命工場の実施をいつ判断するのかという意見だった。
- 委員： 熊本震災の状況を見るに、少しでも早く建設を行うべきと考える。また、宇部まつりなどでの利用状況を見ると、庁舎裏に広場があるのは使いづらい。駐車場を一体利用するなどして、庁舎前広場を整備してほしい。
- 委員： 現庁舎のフローリングを使った廃材事業などを考えてはどうか。思い出のグッズとして売り出し、建設費用に充てるアイデアもある。
- 委員： 執務空間はできる限り経済的に建設、対市民のスペースで本当に必要なところは、しっかり確保してほしい。また、設計段階では、多目的ホールと議場を重複利用するなど、面積削減の方法を検討してほしい。
- 事務局： 共用・転用の方法については、設計段階にて検討したい。(基本計画にも、共用・転用を検討していくとの記載はしている)

4. その他

有事の際の行政機能の分散化について

- 事務局： 宇部市の業務継続計画では、常盤公園内の湖水ホールを災害対策本部とし、各出先機関・公共施設にて市庁舎機能を代替する計画としている。
- 委員： 実地訓練は行っているか。
- 委員： 訓練はまだしていないが今年度は実施したいと考えている。防災会議にて検討を持続したい。
- 委員： 湖水ホールに備蓄倉庫や機材が備わっているか。
- 委員： 不十分な面があるので、災害対策本部室を専用で設けることなども含め、今後強化を図りたい。
- 委員長： 新庁舎の耐震性について、免震構造を採用するなどの記載は明確にしなくて良いか。
- 事務局： 設計段階にて検討・判断したい。

その他

- 委員： 設計段階では、駐車場の安全性に配慮してほしい。アプローチ動線や渋滞対策など、特にこどもの事故の危険性が高まらないような配慮が必要。
- 委員： 市庁舎が現地建替えされることが十分に伝わっていない。市広報による周知やチラシを全戸配布する等、情報発信をもっとしっかりしてほしい。
- 委員長： 市民の関心の高まりが感じられない。
- 委員： 熊本地震が起きたことで、防災に関する意識は高まりを見せていると思う。広報を工夫し、その高まりを維持できるよう努めてほしい。模型を市役所1階ロビーに設置すると分かりやすくしてほしい。
- 委員： 「緑と花と彫刻のまち」というが、彫刻については市民の間で認知度が低い。特に若い人へは訴えかける力が弱い。宇部市ならではの新しい彫刻のあり方などを模索し、若

い人への発信力を高めてほしい。また、広場を整備するのであれば、川沿いの遊歩道と繋がるウォーキングロードの設置や、イベント時にオープンカフェを出店するなど、新しい宇部の魅力を高めてほしい。

5. 今後のスケジュール

- 6月 基本計画素案作成
- 7月 パブリックコメント・市民説明会
- 8月 計画策定・委員会開催
- 9月 基本設計発注作業開始

以上